

川崎市総合計画市民検討会議 第1部会【社会福祉】意見シートのまとめ

分類	ご意見
会議の進め方について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回はかなり時間があった。幅広い議論ができて勉強になった。 ・ 皆さんの意見・アイデアを聞き、大変勉強になった。回を増すごとに活発な意見交換ができた。 ・ 時間もあり、深く議論できた。 ・ 難しいテーマについての討議だったが、中身の濃い有意義な議論ができた。「情報共有と人間関係」、「少子高齢化を踏まえた今後のまちづくり」の重要性を改めて痛感した。 ・ 設定・進行がスムーズで納得できた。バランスよく自由に話し合えた。開始前の説明、ポイントのしぼり方が有効的だった。 ・ いろいろな方の意見や見方をじっくり聞いてよかった。 ・ 十分時間があったので言いたいことは言えた。楽しい時間だった。これらをより良い形で実現することは難しい。
社会福祉分野について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族・自分、地域、行政が単独で行うだけでなく、それぞれがシームレスに連携することが重要。 ・ 情報を確実に市民に伝えて具体的なアクションを促すことが重要。また、家族・自分、地域、行政を結びつけるコーディネーターを増やすため、市がコーディネーターの認定を行うことが必要。 ・ 財政負担軽減のためには、「対策」以上に「予防・保守」が重要。予防・保守的な対策として、介護・医療 情報ネットワークシステムのモデルを構築し、情報の共有化、重複回避によるコスト削減を図ることも一例である。 ・ 自治会、町内会、民生委員がもっと効果的・効率的に動き、より多くの人に参加するために、地域への分権を本格的に進めることを考えてほしい。 ・ 高齢者は頼られると力を出すので良い意味でもっと利用すべき。 ・ 高齢者福祉の仕組みは素晴らしい。これからは健康度 up と認知症などの予防策を考えることが必要。